

タイトル 毅然とした態度・愛

【新改訳 2017】 ルカ福音書

9:51 さて、天に上げられる日が近づいて来たころのことであった。イエスは御顔をエルサレムに向け、毅然として進んで行かれた。

「毅然」ということばは、新改訳 2017 で、日本語聖書の訳語として利用されました。新共同訳では、「決意を固め」、リビングバイブルは、「鉄のように強固な意志を内に秘め」と訳されています。また、聖書協会 共同訳 では、「決意」されたとなっています。今朝は、毅然とした態度の内容とその質を考えてみたいと思います。タイトルを「毅然とした態度・愛」と致しました。

イエス様は、毅然とした態度で、御顔をエルサレムに向け進み始めました。弟子たちは、ひとまずの伝道の訓練を終え、5千人の給食の奇跡、変貌の山の体験をしたところでした。数人が、サマリア人の町に、前ぶれとして使われました。

9:52 そして、ご自分の前に使いを送り出された。彼らは行ってサマリア人の村に入り、イエスのために備えをした。

9:53 しかし、イエスが御顔をエルサレムに向けて進んでおられたので、サマリア人はイエスを受け入れなかった。

他の町では、イエス様一行は、大歓迎をされました。しかし、サマリア人の町の人々は、受け入れを拒否しました。自分が受け入れられないということは、気持ちの良いものではありません。EQ（感情指数）のレベルが低下していると、心が混乱してとんでもない言葉を口にしてしまう人々もいます。弟子の

ヤコブとヨハネ、「雷の子・ボアネルゲ」とあだ名が付けられる激情タイプの二人が、イエス様からのイエローカードを渡されます。

9:54 弟子のヤコブとヨハネが、これを見て言った。「主よ。私たちが天から火を下して、彼らを焼き滅ぼしましょうか。」

9:55 しかし、イエスは振り向いて二人を叱られた。

サッカーの審判は、「毅然とした態度」笛をピーっと鳴らし、判定を選手に観客に示します。「叱る」というギリシャ語の意味は、スポーツの審判の判定と同じです。弟子のヤコブとヨハネの叱られた後の態度がどうであったかは、わかりません。しかし、ここで重要なのは、「毅然とした態度」の持ち主は、激情した人々の心を静めることが出来るということです。

56節～62節には、イエス様の弟子になりたいと願う、三人が登場します。

9:56 そして一行は別の村に行った。

9:57 彼らが道を進んで行くと、ある人がイエスに言った。「あなたがどこに行かれても、私はついて行きます。」

9:58 イエスは彼に言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巣があるが、人の子には枕するところもありません。」

この第一の人は、自発的に従いたい、と申し出をします。しかし、イエス様は、この人のウイークポイントを知っていました。その弱点は、今日的に言うならば、「自分の生活のレベルを変えられない」、「新しい生活レベルに適応できない」ということではないでしょうか。

第二の人は、イエス様が、この人ならばと声を掛けました。

9:59 イエスは別の人に、「わたしに従って来なさい」と言われた。しかし、そ

の人は言った。「まず行って、父を葬ることをお許してください。」

9:60 イエスは彼に言われた。「死人たちに、彼ら自身の死人たちを葬らせなさい。あなたは出て行って、神の国を言い広めなさい。」

残念なことですが、この人は、「後ろ髪をひかれる」手放すことのできない事情を抱えていました。新共同訳聖書では、ルカ9章、マタイ8章<sup>1</sup>共に、「◆弟子の覚悟」と小見出しが付けられています。ルカ福音書では、3人ですが、マタイ福音書では、律法学者が、第一の人物、弟子のひとりが、第二の人物で話は閉じています。最後の第三の人物を見てみましょう。

9:61 また、別の人が言った。「主よ、あなたに従います。ただ、まず自分の家の者たちに、別れを告げることをお許してください。」

9:62 すると、イエスは彼に言われた。「鋤に手をかけてからうしろを見る者はだれも、神の国にふさわしくありません。」

この人物も、「後ろ髪をひかれる」生活事情を持っています。この第三の人には、「鋤に手をかけてからうしろを見る」という、ルカだけが描くイエス様のメッセージが込められているいます。第一の人は、積極的でしたが、「後ろ髪を引かれ」てしまいました。第2の人は、イエス様に見込まれたのに、「後ろ髪を引かれ」て、人生最大のチャンスを逃しました。第3の人は、「鋤きに

---

<sup>1</sup> 【新共同訳】マタイ

◆弟子の覚悟

8:18 イエスは、自分を取り囲んでいる群衆を見て、弟子たちに向こう岸に行くように命じられた。 8:19 そのとき、ある律法学者が近づいて、「先生、あなたがおいでになる所なら、どこへでも従って参ります」と言った。 8:20 イエスは言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巣がある。だが、人の子には枕する所もない。」 8:21 ほかに、弟子の一人がイエスに、「主よ、まず、父を葬りに行かせてください」と言った。 8:22 イエスは言われた。「わたしに従いなさい。死んでいる者たちに、自分たちの死者を葬らせなさい。」

手をかけて」毅然としてその作業をし続けるべきでした。しかし、後ろを見てしまい、「神の国にふさわしくない」と、イエス様から厳しく判定されています。この「ふさわしくない」は、ルカだけが使う言葉で、「役に立たない」とも訳される厳しい判定です<sup>2</sup>。

先に申し上げた、55 節の「二人を叱られて」、62 節の「ふさわしくない」という厳しい言葉があるのは、51 節にあるイエス様の「毅然とした態度」と深い繋がりががあると私は読んでいます。

「後ろ髪を引かれる」また「うしろを見みてしまう」という態度は、イエス様の「毅然とした態度」とは、正反対のものと言えます。

皆さんは、今、どのような鋤を手にしているのでしょうか。いつもよりも毅然とした態度で、臨まなければならない状況に私達は置かれています。

#### 【新改訳 2017】 ルカ福音書

9:51 さて、天に上げられる日が近づいて来たころのことであった。

イエスは御顔をエルサレムに向け、毅然として進んで行かれた。

イエス様が、毅然と進んで行かれたように、私たちに託された鋤を手にして毅然とキリストの愛を胸に前に進んでまいりましょう。

---

<sup>2</sup> 【新改訳 2017】 Luk 14:35 土地にも肥やしにも役立たず、外に投げ捨てられます。聞く耳のある者は聞きなさい。」